

2025年度OBOG部会 イベント実施報告

01

ウィーン補習授業校

02

ポートオブサクラメント補習授業校

03

ダラス補習授業校

04

ヒューストン補習校

05

シカゴ補習授業校

06

クリーブランド補習授業校

07

カンザスシティ補習授業校

01

02

03

04

05

06

07

08

講話会『OBに聞く』 開催：2025年6月



講話会『OGに聞く』 開催：2025年12月



在校生の授業中に、保護者を対象に開催しました。本校のOBOGや他補習校出身者、在校生の保護者など、いずれも今現在の在校生と同じ環境の出身者をゲストスピーカーにお迎えし、日本語学習環境、現在の日本語との関わりなど、多岐に渡り語っていただきました。

事前にオンラインでアンケート調査で質問を募り、保護者が一番気になっていることについて、体験を聞かせていただきました。

中学生OGによるボランティア (授業&行事サポート)

現地校から日本人学校に転校し、ウィーン補習校を卒業したばかりの中学生OGが、後輩の授業や、行事のサポートにきてくれました。

ウィーン校は、今年度よりウィーン日本人学校に校舎を移転したため、放課後に残って手伝ってくれることになったものです。

始業前の準備や、テストの採点のほか、授業中の作文など各生徒に個人的な指導が必要になるような場面でも教室内を回りサポートしてくれています。



授業サポートで巡回中

郵便屋さんになり、
各クラスに年賀状配達



🌸 ポートオブサクラメント補習授業校①

同窓会の発足・LinkedInの補習校ページの開設

ポート・オブ・サクラメント 補習授業校 同窓会サイト開設のお知らせ

サクラメント補習校 関係者、及び過去に在校された方々へ

本校は2028年に50周年を迎えます。その長い歴史において、本校からは数多くの世界にはばたく卒業生を輩出してきました。またその過程では先生方を始め数多くの方々による支援を受けて成り立ってきました。そのような方が所属する「同窓会」を設立することで、近々50周年を迎える本校からの卒業生たちへの情報発信の機会、また卒業生中心に情報交換できる機会を設けたいと思立ちました。

同窓会の設立はサクラメント補習校 保護者有志で結成される「ポジティブ」でお手伝いしたいと思っています。現時点では、まずは同窓会の紹介、及び会員募集を始めたいと思っています。その後、当面は「ポジティブ」がサイト運営・情報発信を引き受けて頂きますが、運営が軌道に乗りましたら卒業生有志の方へ運営を移管したいと考えております。

皆様のご協力、及びご登録をお待ちしております。どうぞよろしくお願いいたします。



概要

Port of Sacramento Japanese School provides Japanese and American students with the best educational opportunity to become fully bilingual and bicultural in our increasingly global society.

❑ 25年度9月、同窓会が発足し、会員募集を開始した。当初利用予定だった会員管理プラットフォームのサービスが終了することが分かり、Google Formで会員情報を集めることになった。

❑ LinkedIn (SNS) に補習校ページを開設 (学校の教職員がLinkedInのアカウントを持っていれば、無料で開設可能)。OBOGだけでなく、過去・現在の補習校関係者同士がつながる機会を増やす目的。

❑ これまでも使用してきたFacebook, Instagramのアカウントと合わせ、同窓会関連で活用していきたい。

01

02

03

04

05

06

07

08

🌸 ポートオブサクラメント補習授業校

②

元在校生ボランティアプログラム

- ❑ 25年度はOBOGを招いての講演会のイベントが26年2月に予定されているため、ここに報告できる単発イベントはなかった。これまで同様、①元在校生による運動会などの行事の時の手伝いや、②普段の授業中の補助活動を行うボランティア・プログラムは活発に行われた。
- ❑ ②では、多人数クラスや低学年クラスで、教員のアシスタントとして活躍してもらっている。子供たちが授業活動に楽しく取り組む一助となっている。



01

02

03

04

05

06

07

08

🌸 ポートオブサクラメント補習授業校 ② (続き)

01

02

03

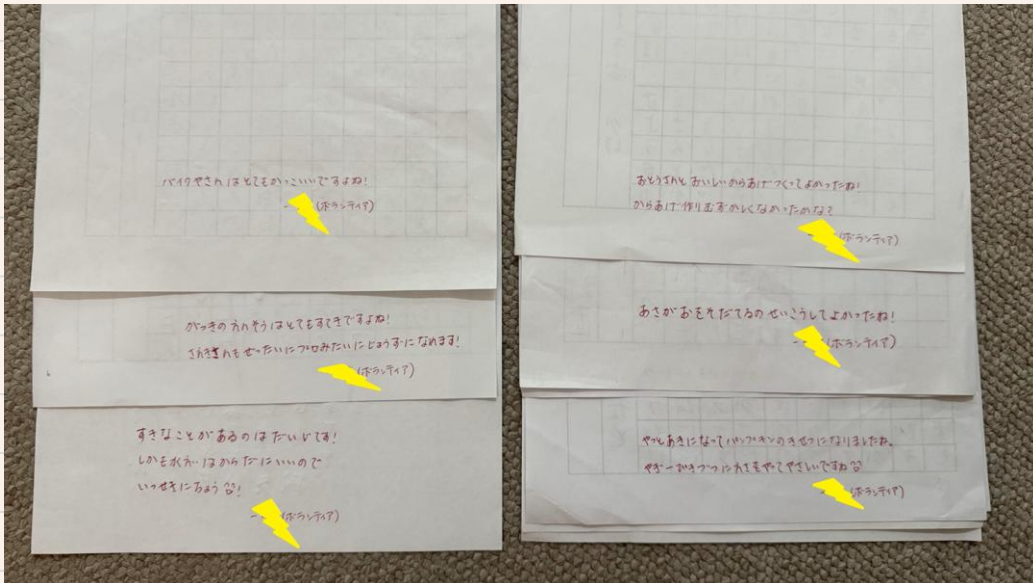
04

05

06

07

08



第3回高等部講話会

(ガラス補習校 実施年月:2025年11月)

国語表現[単元名:講演会を開こう]と進路指導の一体化を図った講話会に、ガラス補習校で学んだ先輩を招いて実施。先輩の話聴き、各生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識を高め、主体的に自己の進路を選択していくための機会を提供する。

〈実施者〉高等部生徒、高等部教員

〈講演者〉ガラス補習校卒業生で航空会社客室乗務員

〈計画ダイジェスト〉

事前準備(教員-講話者)

時期	内容
4-6月	企画立案(コンセプト・時期・対象者)及び承認
5-7月	講演依頼、日程確認
11月	スケジュール調整・生徒からの依頼文、質問事項のお渡し

事前準備(教員-生徒)

授業毎のねらい
進路識調査:講話会の目的と概要を知る。
依頼文やお礼文を文章で出す場合の形式などを知り、相手や目的に応じて、表現を工夫して実際に書く。
係分担を決める。
準備/リハーサル:講話会の流れを理解し各自の考えをもって参加させる。
実施:社会人とのコミュニケーションの仕方を身につける。講話を積極的に聴き、理解し、質問をする力を身につける。
事後活動:お礼文の作成・まとめ・自己評価をする。記録をとり、事後に残す過程について学習する。

〈成果〉

- ・生徒は自分たちの会だという自覚と責任をもって最後まで活動できた。
- ・毎年行うことで、生徒たちの会へ参画の仕方や質疑応答などのマナーも身につけてきた。
- ・先輩からのメッセージが響き、自分の進路に対して真摯に向き合おうという思いが伝わった。
- ・今年度の講話者は、昨年度の講話者の紹介で、昨年度の講話者本人も講話会を聴講してくれた。OBOG同士がつながる場にもなり、来年度の講話者の紹介をお願いすることもできた。

ページ執筆者名:ガラス補習校 大橋 由貴



第3回高等部講話会メモ (2025/11/15)

学年 _____ 名前 _____

<本時のめあて> 先輩の話積極的に聞き、社会人との関わりを通して、自分の将来や進路について気づきを得ることができる

講師：

A. 講話を聴いて、①これからの自分の高校生生活に生かしたいと思ったこと②自分のこれからの進路について取り組んでみようと思ったこと。長めに具体的に書いてください。

B. 講話の中で、①知りたいと思っていたこと②心に残ったこと③お礼の言葉をたくさん書いてください。ご本人へお届けします。長めにたくさん書いてください。

C. 講話会の運営について一よかった点

D. 講話会の運営について一改善できると感じた点・提案など

<ふりかえり> めあてを読み、①,②,③について1(出来なかった)から5(よくてきた)で評価し、該当する番号に○をつけてください。

① 講話会の内容をよく理解できたか	1	2	3	4	5
② 独自の質問ができたか	1	2	3	4	5
③ 社会人とのコミュニケーションの仕方身につけられたか	1	2	3	4	5

第5回 高等部 パネルディスカッション

(ダラス補習校 実施年月: 2025年10月)

国語総合[単元名: パネルディスカッション]と進路指導の一体化を図って実施。卒業生がどのようなプロセスを経て大学に入学したのか、現役の大学生にWeb会議サービスを用いてその体験談を語ってもらい、在校生が意識を持って自己実現を図るための一歩を踏み出せるようにする。

〈実施者〉 高等部生徒、高等部教員

〈パネリスト〉 ダラス補習校高等部に在籍した現役大学生3名

〈計画ダイジェスト〉

時期	内容
5-8月	・企画立案(コンセプト・時期・対象者)及び承認 ・パネリスト選定—参加依頼/日程の確認
9月	・プレゼンテーション用のテンプレートを渡し、1週間前に事前打ち合わせする旨の連絡。
10月	・国語科で役割分担を決める/当日原稿とタイムライン作成 ・パネリストと事前打ち合わせ ・パネルディスカッション・お礼文の作成

〈パネリストへの質問テンプレート・事前打ち合わせ〉

- ・画面共有用のスライドテンプレートを用意し、話をしてほしい内容を項目として入れて、事前打ち合わせまでに用意してもらった。
- ・事前打ち合わせでは、パネルディスカッションで話してほしいことを確認し、スライドをアップデートしてもらった。

〈生徒からのフィードバック〉

- ・似た背景を持つ先輩方の話を聞くことで、今の自分の環境をいかに生かすことができるか、改めて自覚することができた
- ・調べるだけでは得ることのできない実際の経験に基づいた、それも身近な方のお話は、入試に関する情報だけでなく勉強やその他考えるべきことも知ることができ有益だった。

〈成果〉

- ・継続的に実施してきたことで、パネリスト自身も在校時に「聞く側」としてパネルディスカッションを経験しており、当時の自分に重ね合わせながら、今の高校生が本当に知りたいことを考えて発表してくれた点がとても良かった。

ページ執筆者名:ダラス補習校 大橋 由貴

〈テンプレート〉

プレゼンテーション用テンプレートです。このままをコピーして印刷する場合はこのままでも構いません。必要に応じて、ページを調整したり、印刷して大丈夫です。写真などもご自由に追加してください。

名前

大学・学部・学科名

初年度 (卒業していない場合は、卒業年度の場合)

自己紹介 (何年度卒)

- ・ 補習校の経緯
- ・ アラバで居た時代の場所・イベントなど
- ・ 中絶で再入学した場合はその経緯・再入学の理由なども添えてください

大学の様子-現在の生活等々

- ・ 大学のコース・大学生活etc.
- ・ 学業のこと
- ・ 学業のこと
- ・ サークルのこと
- ・ 補習生であることに関わらず活動していること(アルバイトなど)
- ・ その他

大学志望動機

- ・ 何故その大学を選んだのか
- ・ 決め手は
- ・ 後悔することはないか(後悔は)
- ・ 試験の様子・試験科目・面接・小論文の内容など

大学出願までの準備 1 (タイムライン)

1学期: 入学準備 (入学準備) / 2学期: 入学準備 (入学準備) / 3学期: 入学準備 (入学準備)

大学出願までの準備 2

- ・ 補習校での勉強
- ・ 現地で勉強
- ・ その他の活動
- ・ 共通テスト対策

補習校でやってよかったと感じたこと

補習校でやってあげよかったと感じたこと

大学卒業後のビジョン

先輩からのメッセージ

・ 必ず必ず入れて欲しい <(_ _)>

OBOGボランティア活動

★ ボランティア活動



★主に幼稚部・低学年部でのボランティア活動

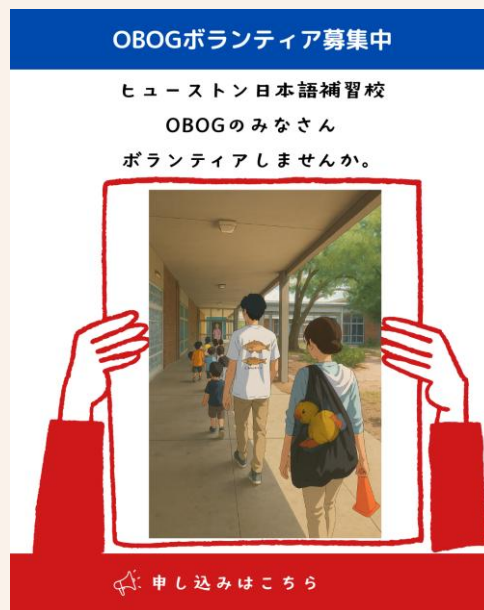
学習支援・環境整備
その他 サポート
(業間休み・昼休み
教室間移動・印刷物配付)

★キャリア講演会
会場設営・原状復帰
講師・在校生との交流

★ ボランティア募集

Instagram

補習校OBOGネットワーク
ボランティア募集案内投稿



*従来のHP申し込み・事務局窓口によるボランティアの受け入れに加え、Instagramでの募集を開始(2026年1月開始予定)

ネットワーク作り

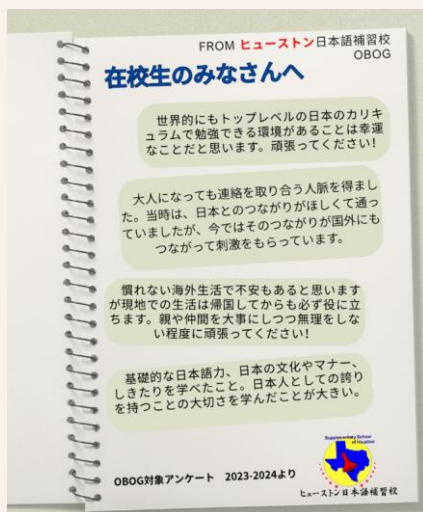


Instagram

OBOG対象アンケート
(2023-2024)
自由記述より抜粋

メッセージ投稿
「在校生のみなさんへ」

ヒューストン日本語補習校OBOGから
在校生へ向けた
メッセージの発信



学び舎サポート

ヒューストン日本語補習校
ホームページ リニューアル
に伴い、新たに相談窓口
「学び舎サポート」を設置。

運用：2026年1月開始予定

対象
転入生・在校生とその保護者

相談対応メンバー
OBOG、OBOG保護者、
現教職員、元教職員



ケース検討会

2025年9月5日

OBOG保護者であり、
現 横浜市立
洋光台第二中学校
副校長 大竹 玲子先生*
を講師にお招きし、
ケース検討会を開催

*特別支援

キャリア教育（講演会・講和会）

★ 2025.2月（予定）

★ 2024.3.15

講師

慶応義塾大学
准教授 佐藤千尋先生
（ニュージャージーOG）

講演内容

中学生対象のキャリア教育
「国際人としての日本人」

対象

中学部1・2年生(75名)
保護者(参加希望者)



中1国語（光村図書）
いつも本はそばに
「研究の現場によるこそ」

発展的学習として

研究職についているOBOG
を講師に招き
講演会を開催予定

方法 Zoom開催

対象者 中1

目的

★OBOGとの交流

★新しい世界との出会いを
楽しみ、読書の価値を知る
機会とする。



卒業生ページ作成企画

クリーブランド補習校

卒業生ページ作成の提案

提出者：後藤豊実

対象：クリーブランド日本語補習学校 運営委員・教職員

1. 目的

補習校ウェブサイト卒業生ページを作成し、卒業生の進路や経験を在校生・保護者に共有することで、入学希望者への情報提供、在校生の学習意欲向上、学校運営支援を行う。

卒業生の定義：日本への帰国に伴い転出した生徒、および、転居はせずとも中学部、高等部いずれかもしくは両方を終了した生徒（小学校卒業のみの生徒を含めるかどうかについて話し合う必要があるかもしれない）

2. 意義

(1) 生徒募集への貢献

- 補習校入学を検討する家庭に、卒業後の具体的な進路例を提示
- 補習校に通うことによって得られるメリットを提示

(2) 在校生のモチベーション向上

- 卒業生インタビュー・進学例を掲載 → 学習意欲の向上
- 在校生と卒業生の交流機会を創出（進路相談や体験談）

(3) 保護者への情報提供

- 帰国後の進路や米国進学情報の収集に活用
- AP Japanese、英検対策情報の参考になる情報を提供

(4) 運営資金の獲得

- 将来的に卒業生からの寄付募集や同窓会運営のプラットフォームとして活用可能

- 高等部の教員が、卒業生を招いて話をするイベントをしたいと希望。

- 企画書を作成し、校長先生や興味のあるという教員の方々と共有済。
- 設立50周年の式典に絡めてはどうかという提案を頂いた。

3. 掲載案（優先度別）

優先度	内容	実現の目安
高	進路Q&A（アンケート抜粋）	AG+アンケート結果利用 後藤が作成可
高	AP Japanese・英検体験談	後藤が作成可、簡易掲載 在校生、卒業生協力が得られれば掲載
中	卒業生からのメッセージ・インタビュー	卒業生協力が得られれば掲載 後藤が作成可
低	同窓会ページ・卒業生コミュニティ	石田さんの協力、保護者の承認必要
低	卒業生座談会動画・連絡先付き名簿	個人情報管理ルール整備後に検討

4. 懸念点と対応策

懸念点	対応策（案）
個人情報・匿名性	掲載は卒業生本人の承諾のみ。氏名はイニシャル、写真は希望者のみ掲載許可を保存する
情報更新頻度	年1回程度、学校経由で確認？
運営負担	コンテンツ作成は後藤、技術面は協力が得られるなら石田さんと連携

5. 他校事例（参考）

シカゴ補習校 2025年11月

戦後80年を迎えて戦争を考察する。
高校生による中学生へのプレゼンテーション

ひめゆり学徒隊についての
学習考察を中学生に披露

戦後80年を迎え戦争体験の声を実際に聞くことのできる最後の世代である私たちに何ができるのか。戦争で何が起きたのかを自分事と捉え考察。広島・長崎ほどにはあまり取り上げられない沖縄戦に注目。自分の年齢に近いひめゆり学徒隊を特にとりあげることで、より身近に感じ自分事として考えてくれた。また教師でない高校生から話を聞くことでより説得力をもって伝わり、中学生にとって戦争を改めて考えるいい機会となった。



OBOGの転入生への手助け

補習校中学部の日本からの転入生に地元の各校に通う補習校のOBOGやその家族を紹介した結果、転入生のアメリカ生活への適応の大きな助けになりました。

- 現地の高校選びの助け（私立を含む地元3校のOBOGを紹介）
- 英語の家庭教師としての助け
- 現地高校の同級生や家族との顔合わせの通訳としての助け

この時に選んだ高校以外のOBOGとも交流が続き、支えになっているということです。中学部での日本からの転入生は、言語面と合わせて苦労する学生が多く、不登校になった生徒も今までいたことから、一つの良いサンプルになったと思います。

.